池田 東一郎 町長による町政報告会（第2回目）議事要旨

- ◆ 日 時：令和6年4月27日（土）16:30～18:30
- ◆ 場 所：保健センター2階研修室
- ◆ 内 容：令和6年度の主な事業と予算
- ◆ 概 要：資料説明後、参加者からの質疑応答を実施

質問1 明治記念大磯邸園の安全対策に関する質問

大隈邸が秋頃に公開されるというお話がありましたが、安全面についてお伺いします。

私も何回か行ったことがあります。裏に駐車場から国道に出る道があり、その道路は普段あまり通らないと思いますが、電柱が立っており、幅員が狭く、車が一方通行しかできないのですが、公開されるにあたり、交通量が増えて両方向から車が来るのではないかなと思っています。

また、この道は何年か前に勾配をすごく強くしており、入口のところから中間にかけて非常に高くなって、また下がっているという状況にあります。

最近では、リュックサックを背負ったグループがウォーキングしているところをよく見かけます。近所の人であれば、分かりますが、そうでない方はその勾配がわからず、幅員もそんなにないため、その道を歩いていると急に車が前から来たと思うような形状となっています。前は、国道1号線側から入っても、少し進むと向こう側が見えていました。ここで説明をしても、皆様にお分かりいただくのは難しいと思いますので、現場を見ていただきたいです。町にはその当時にお話はしたのですが、叶いませんでした。

次に、全部幅員が広がってから来られた際には、「危険という札をぶら下げましょうか」と言われました。安全に対してそのような感覚ではとても心配ですので、現場を見ていただいて、良い方向に進めていただければと思います。

回答1

その道は、国と町で整備する道でそれぞれ分かれているはずですので、私が現場を見て、国の道であれば注意するよう伝えるとか、町の道であれば対応するよう担当へ伝えます。後でお名前と御連絡先をお伝えください。御連絡します。

質問2 大磯式部活動に関する質問

基本的に変更になっているところは土日の取扱いかと思いますが、もう少し細かいところをお尋ねしようかなと思っています。大磯町役場のどの部署に行けば、御説明いただけますでしょうか。

回答2

教育委員会の学校教育課です。指導されている方が、登録していただくと、土日分のお礼差し上げることができます。

また、先生でない方も登録ができます。例えば、地域のサッカーのコーチの方が、登録していただくと、先生と一緒に、ご指導いただいた分、お礼を差し上げることができますので、そこも含めて学校教育課に話を聞いていただければと思います。

質問3 防災行政無線に関する質問

この件に関しましては前町長のときに相談し、防災無線が今のように全然聞こえない場所でしたので、新しい場所に今の防災行政無線が設置されました。そうすると、今度は非常に甲高い音で逆にうるさくなってしまいました。今回の更新で性能がアップされると、ますます、騒音になるのかなという懸念があります。その点について、地域の状況を確認しつつ更新していただければなと思います。

回答3

今の防災行政無線はラッパ型のスピーカーが付いているので、ラッパの先にあるお宅はすごい良く聞こえ、ラッパが向いていないお宅は逆に聞こえにくいというお話を伺っています。

今度の更新では、ラッパ型ではなく、360度聞こえるスピーカーにし、それを基本に建て替えますので、程よい感じかなと思います。しかし、場所によっては、そういった方もいられると思いますので、近隣の方に相談しながら進めるように、担当に共有します。

質問4 新庁舎整備に関する質問

新庁舎の基本計画は、現在どの程度進んでいますでしょうか。

回答4

令和5年3月に基本計画を策定し、現在は基本設計に着手しています。

質問5 新庁舎整備に関する質問

新庁舎整備の進捗状況等について、一般町民も確認できるものはありますか。

回答5

現在、基本設計に着手している段階のため、確認できるようなものはございません。

しかし、今年度の当初予算のポイントとして、「町民まんなか元年」と位置付けている意味は町民の皆様からの御意見を伺いながら、町の事業を進めていく狙いがありますので、町民の皆様のお意見を伺う機会を必ず設けるようにします。

その際、様々な御意見をいただけるとありがたいと思います。

質問6 町民と議会との関係性に関する質問

町民の意思と議会の議決との関係性について伺います。一般論でいうと、例えば、前町長の時に議会の議決を受けたことでも、新しい町長が立候補し、当選された場合、私たちの町民の意思は、最後に選挙で選ばれた町長の意思だと思えます。その町長の意思と以前に議決

した内容が違う場合、新町長の意思を尊重させるべきと思います。

いわゆる、大統領制と議院内閣制の違いで、日本の総理大臣なら解散しますが、大統領制の場合は違いますので、町民の意思はどう反映されるのか、例えば、大磯町の場合、町長は議員の議決で新しく決まった場合、それを尊重するとなると、町民が選んだ町長の意思である町民の意思が尊重されたことになるのでしょうか。

回答 6

大統領制と町の行政は似ていまして、難しい言葉だと「二元代表制」と言います。

アメリカの場合、大統領を選ぶ際に、上院の3分の1を改選して、下院は全部改選しますので、ほぼ同時期に大統領と議会が選ばれています。

しかし、大磯町の場合、私が選ばれた町長選挙と町議会議員の皆様が選ばれた町議会議員選挙が半年ぐらいつれていきますので、それぞれの時期で町民の皆様の意思が反映されていると思います。その場合、どちらの意思が優先されるのかというお話ですが、私としては町議会の皆様の意思に沿って、やはり行政を進めていくことが民主主義のポイントだと思っております。ただ、私を選んでいただいた町民の皆様の意思に答えられていないという御意見がありましたら、本日のような形で町民の皆様に御説明していきます。そのような形が二元代表制という制度の中では良いと思っております。そのため、町議会議員の皆様のお意志も、私としては町民の皆様の御意思と受けとめています。

質問 7 町民と議会との関係性に関する質問

町民が最後に選んだ町長の意思が民意であるわけですから、町議会の意志も町民の意思として尊重するという御説明であれば、その民意について町議会の説明はどうあるべきでしょうか。

回答 7

町議会でも「議会報告会」が開催されますので、議会が考える町民の意思につきましては、そちらで御質問いただければと思います。また、私自身としても町議会の皆様にしっかりと理解していただけるよう御説明をもっとしていかなければいけないと思っております。

私が町民の皆様の意思を引き受けさせていただいていることについてはその通りだと思います。町議会にそれをしっかりと伝えるように説明しなければいけない中、議会で否決されたということは、私の説明が足りなかったと反省しなければならないと思っております。

質問 8 人口減少と子育て施策に関する質問

人口減少と子育て施策について伺います。まず、子育て施策として、医療費助成が18歳までとなっておりますが、大学卒業する子まで拡充していただきたいです。

そして、最初は少しの補助で良いと思いますが、最終的には無償化にしていきたいと思っております。また、大磯町の子どもたちには全員大学を出てほしいという思いがあります。法律に限らず、私立中学校に受験をする家庭に対して何%か補助するような対策をとっても

良いと思います。

また、大磯町周辺には大きな図書館が無いので、神奈川県最大級の図書館に行く場合、横浜市に行かなければいけません。

そのため、大磯町には子育て施策を中心に進めている市町村の動向を追っていただきたいと思っています。

回答 8

これまでも大学に進学するための支援をした方が良いというお話は伺ったことがあり、医療費助成を大学生まで無償化にすることについても悪いことではないと思います。

しかし、様々な費用を無償化していくためには、やはり財源が必要となり、医療費を無償化するための財源については地方交付税を受けることができません。現在、実施している18歳までの医療費助成は国の補助金を充てています。他市町村はその補助金を医療費助成に使わず、別の施策に充てているため15歳までですが、大磯町は国や県の補助金を活用して18歳まで医療費助成を拡充しています。

そのため、今のところ、財源について町の負担はほとんどなく進められていますが、それを更に拡充するとなると、自前の財源を用意してかなければいけないためこれからよく考えさせていただきたいと思っています。

また、図書館をはじめ、体育館やスポーツ施設など、色々町民の皆様から要望はいただいておりますが、人口3万人の町では、立派な野球場や大きな図書館を整備することは、なかなか難しいと思っています。例えば、平塚市に行くと、立派な図書館や野球場がありますけど、平塚市の人口は25万人ほどいます。私が考えていることは大磯町内だけというより、二宮町等の近隣市町と協力をして、体育館や野球場を建てるような身の丈に合った対応が必要だと考えています。地方交付税や税外収入を得るという工夫はしていますが、そこまで手が回らないと思います。一方で、歩いてすぐ行けるような小さな図書館があるという環境も良さであると感じています。先ほど御説明させていただきました中学校や小学校の建替えや改修工事をしていく中で、学校の図書館を地域の皆様も使えるようにしていくことも1つのやり方だと思っています。そういったことも含めて、本日いただいた御意見をしっかりと町役場の中で貴重な御意見として共有してまいりたいと思っています。

質問 9 中学校給食、町立こども園と現庁舎の耐震に関する質問

大磯中学校の給食が5年ぐらい中止になっていることについて、今後どのように考えられているのでしょうか。また、先ほど御説明していただいた町立こども園と現庁舎の耐震に関する予算が議会で否決された理由について、教えていただければと思います。

回答 9

まず、中学校給食についてですが、私も1日でも早く再開したいと思っています。

しかし、5年ほど前に中学校給食をどのように進めていくのかという検討会で、自校方式で各中学校に給食室を作るという方針を町として決めた経緯があります。先ほど申し上げ

たように、これから中学校の建替えや大規模改修がありますので、今すぐに大磯中学校と国府中学校に給食室を作ってしまうと、すぐに壊さなくてはいけない可能性があり、二重投資となってしまいます。私としては自校方式にこだわらず、給食センターを1つ別に作れば、将来の建替え等を考慮しなくても良いのではないかと考えていたのですが、町役場の所管課と相談をしたなかで、検討会で自校方式と決めていただいているため、給食センターの案は難しい状況となっています。また、こども園や現庁舎の耐震に関する予算についてですが、こども園はすでに町議会が決めていたことですが、私は交付税を活用するという観点から、財政的にも民営と差はないというお話をさせていただきました。

しかし、従来から決まっていた話であり、民営のまま進めて欲しいというのが、議会の皆様の御意向と受けとめています。

実際の議会の見解としましては、議会報告会が開催されますので、その際に御確認いただければと思います。

現庁舎の耐震診断に関する予算が否決されたことにつきましては、既に耐震診断を実施しており、駄目なことは分かっていたことから、耐震診断をする予算が二重投資となり無駄であるというお話だったと記憶しています。

私としては、もう一度、耐震診断を行い、耐震補強で対応できる可能性があるなら、耐震補強させていただき、その間により適切な場所を探して、消防署と町役場を集約して建て替えることを理想としていました。理由としましては、消防署と町役場が離れていると行き来が大変であり、災害対策本部を設置するときに、消防長も一緒に加わるようにしたかったのですが、現庁舎の場所ではそれができません。そのため、耐震診断を行い、耐震補強で対応が可能であれば、10年、20年と時間稼いでいる間に、より適切な広い候補地を見つけて集約した形で建替えを行いたいという思いがありました。

しかし、それは二重投資であり、現庁舎は既に耐震強度的に危ない建物であるため、直ちに建替えをしてほしいということが、議会の御意思と受けとめましたので、こちらも詳細については、議会報告会にて聞いていただければと思います。

質問 10 避難所（西小磯老人憩いの家）、タクシーの配車に関する質問

2点、伺います。まず、避難所になっている西小磯西老人憩いの家についてですが、昭和40年ぐらいの建物であり老朽化が進んでいます。耐震補強は平成8年度に行っていると確認していますが、町民に対して避難してくださいと伝えている場所に避難できなかったという状況になると困るので、地方交付税等で7割、8割措置出来るのであれば、町の避難場所、特に備品庫についても開閉ができないところが多かったので、災害対策として重点的に進めてもらえたらと思います。

もう1点が、駅前のタクシーについてですが、高齢者や子どもが増えている中で、最近、朝や土日の夜7時、8時頃に駅へ行くとタクシーがほとんどいなかったり、1台ずつしか来なくてずっと並んだり、あと朝の6時より前の時間はタクシーが呼べないことがあります

ので、高齢者が朝に何かあったときにタクシーを呼べないというのは厳しいと感じています。その点についても何か工夫していただけないでしょうか。

回答 10

まず、西小磯西老人憩いの家に地方交付税を充てられないかということについてですが、地方交付税は使えるものと使えないものがありまして、西小磯西老人憩いの家などは建てる時に補助金を充てています。しかし、施設改修等については補助金等を充てることはなかなか難しいので、町の財源で建て替えなければいけない施設になります。ただ、町内にあつる様々な地域会館や憩いの家で老朽化が進んでおり、皆様にご心配をおかけしていることは認識しています。また、前町長の当時の議論では、西小磯西老人憩いの家等の集会施設は、地域に移管をして、町所有ではなく、自治会所有とし、自治会で建て替えや改修をするという方向性で進めていましたが、それもなかなか大変なので、私は自治会に移管するという方向性を少し止めています。可能であれば、町で綺麗にできると良いのですが、財源を確保して建替えをするというような見通しはまだ立っていません。

なお、西小磯西老人憩いの家は一時避難所になっており、災害が起きた場合、まずはそこに避難していただき、大磯中学校や大磯小学校などの正式な避難所が立ち上がったならそちらへ逃げていただくようになっています。宿泊用のテント等は正式な避難場所である大磯中学校や大磯小学校に設置すると思います。一時避難所という役割ではありますが、修繕出来るものから順次対応していきたいと思います。

町長に就任して2年目なのでそこまでまだ手が回っていませんが、公共施設全体をどのように建替え、修繕していくかということを検討していかなければいけないので、なるべく早く着手していきたいと思います。

次に駅前のタクシーについてですが、先日、三島市にある伊豆箱根タクシーの社長にお会いして、何とかタクシーを増やしてほしいというお願いをしました。

しかし、運転手の人手不足もありますが、一番大きな課題は、常駐するタクシーの台数は法律により地域ごとに決められており、大磯町の場合は40～50台となっています。

そのため、タクシー会社の都合で10台に増やすといったことができません。私も大磯町にタクシーがもっとあつたら良いと思いますが、国の規制で増やせないという現状があります。タクシーの台数に比べて、乗務員数が足りていない状態ですので、台数に見合った乗務員を確保するため、条件を改善していただくよう町からタクシー会社に交渉しているところです。また、これからバスがどんどん減便になってくるのが想定されますので、タクシーを活用していかなければなりません。3月に策定した「地域公共交通計画」でもタクシーを活用するために、4月からタクシー券500円分を差し上げて、バスの代わりにタクシーに乗って帰って来てもらうような取組みを黒岩、虫窪、西久保の山の地区で始めています。その取組みが上手くいけば、色々な地域に拡大していき、500円ぐらいでタクシーが利用できる仕組みを町内で作っていきたいと思いますが、補助金等の財源が必要になりますので、そこも含めて頑張っていきたいと思います。

質問 11 通いの場に関する質問

前回は参加して下水道について、お話をさせていただき、きちんと対応していただきました。ありがとうございます。お話のありました通い場についてですが、昨年に町長からキャンペーン的に実施しますと色々聞いていました。私自身も大変良い取り組みであると思ひまして、町長からもやってみたらとお話がありましたので、実は動いてみました。

それで介護予防など福祉について相談してきました。2月にお話した際に色々なやり方があるということを見せてくださいました。そして、4月からこのやり方でお話させてくださいというお話になりました。しかし、4月にお伺いした際に仕組みが変わるということで、昨年までは最低月1回開催するということがあったのが、今年から週1回になるという話がありました。私も月1回よりも週1回開催した方が活動としては良いと思ひますが、私の今まで考えていたプランでは週1回はとても難しいと感じています。今まで通り月1回であれば、開催は可能だろうと思っていたのですが、7月、8月に新しい制度ができて、週1回になると言われました。昨年度と状況が大きく変わってしまうものですから、地域の総会で説明をするために、参加者用の資料を作ってアプローチしようと思ったのですが、話が変わってしまったのでその話ができず少し残念に感じています。役場で決まったことですが、通いの場を始めるのはなかなか難しいと考えています。

先ほど、御説明で予算100万円という話がありましたが、もう少し予算を取っていただければ月1回でも十分できるのではないかと思います。

回答 11

開催日を月1回から週1回に変更したことについてですが、通いの場の説明のときに申し上げたように生活習慣を変えていただくための仕組みですので月1回ではなく、週1回にした方が良いという話になりました。出前町政報告会の際に申し上げたと思うのですが、月4回開催することは大変であるという御意見はご指摘の通りだと思います。大きい規模の地区であれば開催出来ると思ひますが、黒岩地区のような規模では月1回でも大変なことであると認識しています。その場合、黒岩地区の場合は、西久保地区や虫窪地区と組んでいただければ、それぞれの地区で月1回開催していたものが、週1回になります。

そうすることで、黒岩地区が開催する通いの場に西久保地区や虫窪地区の方々、あるいは他の地区の方々も参加できるようになります。そのように3、4つの地区で協力し合って運営していただけるとより良い「通いの場」となりますので、町役場からもお願いをさせていただいています。

また、改めて私を含め所管課と黒岩地区の皆様とお話をさせていただき、推進できるようにお手伝いをさせていただきたいと思ひます。他の地区につきましても、週1回は難しいけど、月2回開催できるというようなところは月2回開催できる地区同士で合わさっていたらと思ひますので、よろしくお願ひします。

質問 12 議会の傍聴や議会報告会の手法に関する質問

議会報告会でお話することだと思いますが、議会の傍聴に行かないと様子がわかりません。他の自治体では、YouTube 等を活用して放送をしています。議会を S C N（湘南ケーブルネットワーク）に入っていない方々も見ることが出来るように YouTube を活用した中継等を検討していますでしょうか。議会報告会についても、そのような形で放送しているものがないか等の進捗状況を教えていただきたいです。

回答 12

議会の中継方法については、町議会側のお話になりますので、私から実施するべきというようなコメントはできません。ただ、議会の皆様がそのような中継をしたいということで予算をつけましょうという話であれば、私は喜んで対応していきたいと思いますが、議会の皆様の気持ち次第だと思います。

質問 13 町長自身の YouTube に関する質問

町長はご自身で YouTube をされてますでしょうか。

回答 13

町公式で YouTube をやっています。自分の YouTube につきましては、県議会議員のとき政務活動費を活用してやっていたのですが、町長には政務活動費がありません。やりたいとは思っているのですが、給料から実費で行わなければいけないことから、財源の目途が立っていないことから実施していません。

質問 14 人口減少に関する質問

町の人口減少についてですが、藤沢市はマンションが結構建っていますが、大磯町はあまり建っていません。そういう部分から、どうしても人口が減ってしまうのではないかと私は思います。大磯町は人を呼ぶという視点では、旧吉田茂邸の観光が良いと感じています。

以前は地域振興券というようなプロジェクトをやっていました。現在の方針があると思いますが、現状を改善するため、多くの人に来てもらえるような町にしていく必要があると考えています。

回答 14

駅前にマンションをたくさん建てている茅ヶ崎市や藤沢市では、現在も人口が減っていません。大磯の駅前にマンションを建設するのは、ほぼ無理だと思います。

そのため、大磯はどちらかというと戸建住宅に住んでいただけるような方々に来ていただくことが一般的な考え方だと思います。そこで、大磯町には空き家が多いので、空き家を貸していただいたり、売却をしていただいたりということができないかという空き家対策を進めており、今年はかなり本腰を入れてやっていきます。

空き家を 1 件ずつ調べて持ち主に連絡を取り、貸したり、売ったりしていただけるよう働きかけを行います。その働きかけを町職員がやるのではなく、出来れば、不動産関係の方々

や司法書士の方々に入っていただくような民間のお力も借りながら空き家対策を進めていかないといけないと思っていますし、具体的に進めていきます。

現在、本当に家が足りない状態であり、大磯町へ引っ越したいという方々が増えてきているのに、不動産屋に行っても家がないというか、住む家がないという声をいただいていますので、頑張っけて空き家対策を進めていきたいと思っています。また、お店については、卵が先かにわとりが先かの話になってしまいますが、先行投資をされるので、お店を作ってもお客さんが来る見込みがないとなかなか続けていくことが難しいというイメージがあります。

ただ、明治記念大磯邸園の全面開園が控えており、お店に来るお客様が見込めるということがだんだん目に見えてくると思いますので、商工会へ町から少しご支援をさせていただくような補助金を交付し、お土産品等の商品開発を検討していただくなど、観光客の誘致に向けた取組みを今年度実施します。そのような商品開発等を進めていただき、お客様が増える見込みが変わってくると、新たなお店に来ていただいたりとか、今あるお店が活性化されたり、次のステップに進めると考えていますので、地道な取組みを重ねていきます。

現在は、二宮町内の出店が多くなっているため、二宮町の様子をよく勉強しながら、大磯町内にたくさん出店いただけるような方策を頑張っけて考えていきたいと思っています。

質問 15 駅前広場の整備に関する質問

駅前広場についてですが、その前に認定こども園を民間に委託することになるが、契約こそ大事だと思っていますので、そのあたりを町長に特別お願いしておきたいです。

駅前広場の取組みの中で、観光案内所もその一環と思っていましたが、もう内容は決定しているのでしょうか。決まっている場合、どこで確認ができるのでしょうか。

回答 15

駅前広場については、私が町長になる前に大体の図面が決定しており、風月、観光案内所、交番が今よりも後ろに下がるような形で3軒並びます。本日はあまり説明していませんが、駅前整備の予算は今年度もいくつかあります。例えば、今年度は本格的に着手するわけではありませんが、駅前電柱の地中化などがあります。

また、図面については町のホームページに公表されており、こちら私が町長になる前の話ですが、説明会等も開催していました。そのため、大体の方向性は決まっていますが、風月があったスペースにベンチを置くことなど、検討していく内容はあります。

質問 16 駅前整備に関する質問

少しお願いのようになってしまいますが、観光案内所に町外から来た方々が集まるようなスペースを設けるべきだと思います。

回答 16

観光案内所を建て替えると、少し広くなりますので、そのスペースを作るか、また、風月の中でお茶を飲んでもらうとか、あるいは風月があったスペースに何か作る等、まだ工夫の

余地はあると思いますので、ご意見については、所管課にお伝えさせていただき、工夫ができるようなことがございましたら取り組んでいきたいと思います。

質問 17 郷土資料館、旧吉田茂邸の利活用に関する質問

大磯町はまちカフェというのでしょうか、単にお茶屋さんじゃなくて、絵を飾ったりしているところが、非常に特徴のある町だと思います。民間のお店ですが、それをもう少し大きな形でできないのかと感じます。例えば、大磯町は地政学的に平地が少ないので、建物をどんどん建てるということができません。郷土資料館や旧吉田茂邸の中で小さな音楽会をやっていますが、そういうところを利用して、町の人が展示するだけでなく、町外の人も展示できるようにすることや観光客等を誘客できるような方が展示できるようにするなど、単なる大磯町の郷土資料館ではなく、多目的に利用する方法はないのかと思います。

回答 17

民間のお店がされていることについては、お店それぞれのお考えがありますので、町からあまり言うことはできませんが、郷土資料館は、昨年、「三岸節子と大磯」の企画展を開催し、試行的に参加者から入場料を 500 円いただく取組みを行いました。来場者が多かった。のでそういった手法もあるということがわかりました。そのため、少しお金がかかるような出展者の方及び出店内容であっても、入場料をいただくことで、郷土資料館の利用者数を伸ばし、郷土資料館を起点に町内を周遊する中で、お店に寄っていただくなど、人の動きが出てくると良いと思います。

今年度も誘客に繋がるよう工夫をした中で郷土資料館での企画展等を行う予定ですので、是非お越しいただけるとありがたいです。